

直腸癌およびS状結腸癌に対する直腸切離におけるリニアステイプラー使用回数と縫合不全・予後に関する研究

1. 研究の対象

2018年10月～2025年9月に当院でS状結腸癌、直腸癌の手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

S状結腸癌や直腸癌の手術である前方切除術で重大な合併症の1つが術後縫合不全です。直腸癌の手術では約10%に起こるとされており、予後にも影響する重要な因子と考えられています。術後縫合不全は、直腸切離に使われるリニアステイプラーの使用回数と相関しているとする報告があり、今回その使用回数と臨床病理学的因子との関連について調査を行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：直腸切離に使用したリニアステイプラーの種類と回数。縫合不全の有無

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立病院機構 南和歌山医療センター
〒646-8558 和歌山県田辺市たきない町27番1号
TEL：0739-26-7050
FAX：0739-24-2055

研究責任者：

国立病院機構 南和歌山医療センター 外科
横山 省三